



器楽部が、7月28日（木）から2日間、大阪府泉佐野市で開催された「令和4年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール」に出場し、第3位に相当する、「全国知事会賞」を受賞しました。本校器楽部は、毎年この大会に出場しておりますが、平成28年（2016年）に同じ賞を受賞しており、6年ぶりとのことです。

**弥** 生祭で発表したのは、6月26日（日）の家族への公開日（私は中庭で演奏している姿が好きです）。それから日々の練習を積み重ねてきました。しかしながら、コロナ感染対策により、思うように練習できなかったこともあったのではないのでしょうか。

昨年度の定期演奏会は、コロナ感染拡大により延期をし、本年4月29日に行いました。地域のファンや学校関係者、保護者などが会場につめかけ、優しい音色とともに、演奏している生徒がアイコンタクトをしながら、調和を大事にした姿が見られました。



R4. 6. 26 弥生祭での発表風景

**器** 楽部顧問から全国大会の報告を受け、皆さんにもお知らせしたいと思っております。器楽部にとってみれば、今回の受賞は、「驚き」と受け止めています。他校（上位と思われる）の演奏を聴くと、「技術レベルが高い」と感じていたようで、審査員の評価でも「クレッシェンド（音を次第に強くすること）は上手ですが、デクレッシェンド（その逆）はもう少し」と言われて、上位はあまり期待していなかったようです。

そもそも諸事情で行けなくなる可能性が高かった仲間がいて、状況が変わって全員がそろって参加できたというだけでもみんな喜んでいただけ、思いも寄らぬ賞をいただいて、驚いているやううれしいやら、舞い上がるような心境であったのではないのでしょうか。

私は、最高にいい経験をしたのではないかと考えています。それは、仲間のことを思いつつ、日々コツコツと努力したことを最高の舞台上で最高の力を発揮しようと頑張った結果、思いもよらぬ評価をいただけたこと、これからの人生において自分に自信が持てる貴重な経験であったと思います。

審査員が「堂々としていた」と評価されたように、どこか自信があるように見えた、そんな集中力がよかったのではないのでしょうか。勇気をもらえました。



R4. 7. 29 表彰のあとで